



新年度に向けてプログラム整備

4月から平成23年度が始まります。それに伴い4月半ばから小学校と中学校の自然教室が始まります。中学校52校のうち44校は冬のスキーを予定していますので、グリーンシーズンにやってくるのは中学校8校、小学校113校です。来る子どもは毎年変わりますから、少年自然の家で用意する活動プログラムはそれほど変えなくてもよいのですが、少しでもより良い、そして多彩なプログラムを提供しようと準備を進めています。特に今年度はパノラマスキー場、井戸尻考古館、実践農業大学、周辺ペンションに協力してもらい、今までになかった活動プログラムを提供しようとしています。例えばパノラマスキー場では蕪玉ランプシェード作り、ルバームジャム作りなどを今までの入笠山ハイキングのほかに加えます。井戸尻考古館では考古館・資料館見学のほかに縄文人の行っていた火起し体験ができるように考えています。実践農業大学では畜産体験、農業体験、森林体験、チーズやバターなどの加工体験を考えています。また、周辺のペンションのオーナーに豊かな体験に基づいた話をしてもらったり、自然ガイドをもらったりする活動も考えています。今は年度末の整理と、新年度へ向けいろいろ準備をしているところです。

所長のひとりごと 27

少年自然の家所長 三井 一 則

年明けから連日寒い日が続きました。3季ぶりの出現が期待された今年の諏訪湖も「明けの海」で終わってしまい、諏訪の神の湖を渡る恋の道「御神渡り」を見ることはできませんでした。大寒波が来て寒い日をもっと続かないとできないということは、知らず慣れてしまった緩んだ気候をもっと辛抱しないと自然の作り出す造詣を見ることができないということです。寒さは苦手でも自然界の現象が消えてゆくのは残念なことだと身勝手に思っています。気象予報士の話では、北のオホーツク海では知床に接岸する流氷も減っていくのではないかと、比較のしようがないけれど、やっぱり温暖化……

今のところ大雪も2回くらいでこのまま春に突入とも思えませんが、寒さ厳しいこの地方でも、平地では福寿草の花便りを見る時期と成りました。確実にめぐった季節は、褐色の林に春一番の黄色の色付けをする仕度が整っているようです。

2011. 3. 1

主催事業

1月、2月に実施した事業についてお知らせします。

自然紀行⑩〜スキースノーボード直

行便1を1月22〜23日に計画しました。6名の応募がありました。が、インフルエンザ等でキャンセルが相次ぎ、残念ながら中止になりました。

自然紀行⑨〜スキースノーボード直

行便2を2月5〜6日に実施しました。天候に恵まれ、2日間パノラマスキー場でスキーを楽しむことが出来ました。夜はアストロハウスで30分ほど星空を観察したあと、高原ゴルフ場で行われた暗い夜空に幻想的に浮かび上がるオーロラを見学しました。もちろん本物のオーロラではありません。レーザーで作りの出すレーザーショー

ーです。参加者は5家族17名でした。会場は大変な人気で1千名以上の見学者があり、大変混雑していました。



スノーシューハイキング

自然紀行⑧〜スノーシューハイキン

グを2月26〜27日に実施しました。初日はスノーシュー初体験の人が多かったため、足慣らしに雪に埋もれた入笠山湿原を歩き、スノーシューの感覚を確かめました。2日目は蓼科山へ行き、美しい冬山の自然を堪能しました。ま

た、うさぎやキツネの足跡を見たり、じつと寒さに耐え春を待っている植物の冬芽などの自然観察をしました。参加者は大人12名、子ども2名の14名でした。

ふじみ星空観察会

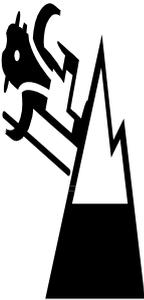
1月28日、2月25日に実施しました。1月は快晴に恵まれ、オリオン座を始めとする冬の星座を満喫し、天体望遠鏡で木星や全天で一番赤いといわれている深紅色星、うさぎ座のクレムズンスターや夜空に宝石をばらまいたような散開星団や、今まさに星が誕生している、望遠鏡の視野一杯に広がるオリオン座の大星雲などを眺めました。2月も天気にも恵まれ、2月の星座を眺めたり、スペクトル型の違う星の色を見比べたりしました。1月の参加者は34名、2月は29名でした。

甘いツララ

所内のヤマモミジの木にツララを見つけてきました。樹皮が傷ついたところから染み出しています。もしかや！と口にするど、ほのかに甘いではありませんか。カナダではサトウカエデの樹液を煮詰めてメイプルシロップを作りますが、ヤマモミジも同じカエデ属です。まだ冬支度の森の中で、モミジはいち早く地下の水分を吸い上げて、春の準備をしていたのでした。そのメカニズムは、冬の間凍って使われなかった水分輸送経路である導管を復活するために、水より濃い濃度の糖分を蓄えることで根から水分を吸い上げる力を作っているのだそうです。導管内の糖分濃度が濃いとそれを薄めようと土の中の水分が浸入し続け、管の中の水分を上へ上へと押し出すのだそうです。いつも植物の持っている力には驚くばかりです。(K)



平成 23 年度 川崎市八ヶ岳少年自然の家年間イベント一覧表

タイトル	内 容	開 催 日	メ モ
八ヶ岳自然紀行 毎回テーマを決め、35名程度を募集し、宿泊体験を通して、八ヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めると共に、参加者相互の交流を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春の美術館めぐりと花回廊 ・ 春の山菜と新緑ハイキングを楽しもう ・ 入笠山スズラン鑑賞と諏訪湖ウォーキング ・ 日本有数の高所湿原を歩こう ・ 八ヶ岳天狗岳に登ろう ・ 秋の味覚三昧 ・ 紅葉ハイキング ・ 野沢菜漬けとそば打ち体験 ・ クリスマスの手作り小物と星空観察 ・ ミニ門松作り ・ ジュニアスキー・スノーボード教室 ・ 冬のアウトドア体験 	4/16・17 5/14・15 6/18・19 7/2・3 9/9・10・11 10/15・16 11/11・13 11/26・27 12/3・4 12/17・18 1/21・22 2/18・19	多摩市民館前発着の貸し切りバスで送迎します。 募集はホームページ、市政だよりなどで。 申込は毎回、はがき又はFaxで。 
自然探検隊	川崎と富士見の子ども各20名程度を募集し、川崎での活動、八ヶ岳での活動を通して、川崎と富士見についての相互理解を図ると共に、子ども同志の交流を図ります。	① 6/26 ② 7/9・10 ③ 10/8・10	青少年科学館と連携。 川崎からの参加者は青少年科学館が募集します。 (こども自然探検隊)
森の探偵団	年度当初に募集した30名程度の家族が、四季を通じた八ヶ岳の自然体験を通して、自然への理解を深めると共に、親子や家族間の交流を図ります。	① 5/13・14・15 ② 8/26・27・28 ③ 10/21・22・23 ④ 2/24・25・26	申込は年度初めに、はがき又はFaxで。
ふじみ星空観察会	近隣の人を対象にアストロハウスで毎月の星座をたどると共に、大型天体望遠鏡で各種天体を観望し、八ヶ岳の暗い夜空と宇宙への理解を図ります。 毎月1回 金曜日の19:00~20:30	4/22 5/6 6/24 7/8 9/2 10/21 11/18 12/2 1/20 2/17 3/2	参加費無料 直接アストロハウスへお出下さい。
八ヶ岳ふれあいイベント	土・日・祝日に利用するグループ、家族を対象に、クラフトプログラムを提供する。内容は ・ バードコール ・ 小鳥の巣箱 ・ 白樺クラフト ・ その他	土・日・祝日の午前1回 午後1回 夏休み期間中は除く	予約が必要です。 参加費無料 材料費がかかる場合があります。
指導者研修会	夏季利用団体の指導者、担当者の資質向上と、団体相互間の交流連携を図り、よりよい八ヶ岳での体験活動を行ってまいります。	未 定	
詳細は川崎市八ヶ岳少年自然の家のホームページをご覧ください。 http://www.kawasaki-yatugatake.jp/			

★★★★ 1ヶ月に1回、少年自然の家の近況や主催事業の募集内容を記したメールマガジンを ★★★★★

★★★★ 配信しています。配信希望の方はご連絡下さい。 ★★★★★

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、午前1回、午後1回、次のようなプログラムを用意しております。参加費無料、材料費のみ。星空観察は参加費無料。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

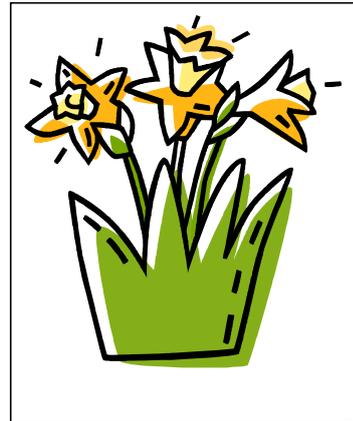
★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から一つを選びます。ハヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産に持ち帰ることができます。

★星空観察

19時～20時30分まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠

鏡での天体観察をします。星雲や星団などを見ることが出来ます。



ハヶ岳自然紀行

ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月1回開催しています。多摩市民館前発着の送迎バスを運行しております。多くの皆様の参加をお待ちしています。

●春の美術館めぐりと花回廊

・近隣美術館の展示鑑賞と山里の美しい桜を堪能していただきます。
・4月16日～17日（1泊2日）

●春の山菜と新緑ハイキング

・新緑のハヶ岳高原をハイキングしながら、山菜についての知識を深めます。

・5月14日～15日（1泊2日）

●入笠山スラン鑑賞と諏訪湖ウォーキング

・一面に咲き誇る80万株のスズランの鑑賞、およびさわやかな諏訪湖湖畔を歩きます。

・6月18日～19日（1泊2日）

費用、内容、申し込み方法等、詳細についてはお問い合わせください。

あとがき

3月末で第一期5年間の指定管理業務が終了し、4月から第二期5年間がスタートいたします。第一期5年間で蓄積したノウハウ、いや昭和52年の開所以来33年間管

理運営を受託してきた経験を存分に活かし、第二期に臨みたいと思っております。そして全国でも屈指の規模を誇る川崎市ハヶ岳少年自然の家として、利用者数もさることながら、恵まれた自然環境と周辺施設を活かした多彩な体験プログラムを提供し、未来を担う子どもたちの健全育成にいくらかでも貢献できればと心を引き締めている年度末です。

川崎市ハヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原 12067-482
Tel 0266-66-2011
Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社